

2022 年度 卒業生答辞 吉川 綾香

吹く風にも暖かみを感じ、春の訪れを感じる季節となりました。

本日、私たち卒業生一同は、晴れて神奈川大学の卒業式を迎えることができました。

この学生生活の締めくくりとなる良き日に、このような素晴らしい式を挙行していただき、心より感謝申し上げます。またお忙しい中、ご列席くださいました先生方、ご来賓の皆様は厚く御礼申し上げます。

現在も厳しい状況が続く中、入学式を行ったこの場所で、本日、卒業式を迎えられることを心より嬉しく思います。

思い起こせば 4 年前の 4 月、これから始まる大学生活への期待と少しの不安を胸に、神奈川大学に入学しました。履修の組み方も分からなかった私は、先輩や友人の力を借りながら、大学生活を過ごし始めました。気づけば全国各地から来た学生と友人になっており、人の輪が広がっていることに喜びを覚えました。1 年次を過ごした湘南ひらつかキャンパスは自然に囲まれ、そこでののびのびと過ごした日々を懐かしく思います。

しかし 2 年次には、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで授業開始が遅れ、自宅でパソコンに向き合う日々になりました。1 年かけて慣れた大学生活はオンラインという新しい環境にかわり、振出しに戻ったような感覚でした。それでも、一生懸命に授業をしてくださる先生、そして友人との支え合いのおかげで、こうした状況も乗り越えることができました。

3 年次には、新設されたみなとみらいキャンパスで一部の対面授業が再開されました。経営学部の私にとっては、湘南ひらつかキャンパスで過ごす最後の 1 年が無くなり、名残惜しさはありましたが、これまでとは何もかも違う新しいキャンパスでの学生生活に高揚感で溢れていました。さらに、1 年間のブランクがあったことで、友人や先生とキャンパスで直接顔を合わせられる喜びを強く感じたことも忘れられません。

4 年次は、就職活動と卒業論文に忙しい 1 年でした。どちらも、自分自身のことや自分のやりたいことに向き合う必要があり、一人で立ち向かっているように感じていました。しかし実際は、先生に励まされ、友人と支え合いながら、家族の力も借りて乗り越えることができ、今こうして卒業式を迎えることができます。

4 年間で振り返ると、語りつくせないほど沢山の経験と思い出があります。

入学当初に思い描いていた大学生活とは違う 4 年間でしたが、その分得られたこと、感

じられたこともありました。周囲の人や環境など、当たり前のことに対する有難さはもちろん、コロナ禍だからこそ新しいことを始められた人も、少なくないと思います。

自分たちに与えられた試練や環境の中で努力し続けられた私たちは、私たちなりの大学生活を送りながら多くの力を身につけた学生であると、胸を張って言うことができます。

4月から、私たちは各々が決めた道を歩んでいきます。卒業生の数だけ大学生活があり、将来への道があります。それぞれの道は違えど、神奈川大学の4年間で身に着けた知識、様々な経験、過ごした時間、多くの出会いは、私たちにとってかけがえのない財産であることに、変わりはありません。

この大学生活で得たものを今後の人生に活かし、それぞれの形で社会に貢献できるよう、未来へ羽ばたいていきたいと思います。

最後になりましたが、こうして私たちが無事に学生生活を終えることができたのも、関わってくださった全ての方々のお力添えのおかげです。ご指導くださった先生方、陰から支えてくださった職員の方々、ご多忙の中ご列席くださいました皆様、そして大学卒業を迎える今日まで、精神的にも、経済的にも支え続けてくださった保護者の方々。

卒業生を代表して、改めて御礼申し上げます。

4年間、私たちが温かく見守ってくださり、本当にありがとうございました。

以上、皆様方のご健康と神奈川大学の一層の発展を願い、答辞とさせていただきます。

2023年3月22日

卒業生代表

経営学部 国際経営学科 吉川綾香